

## 配置計画（案）比較検討表

プラン比較	地上校庭案		屋上校庭案	
<b>1 教育環境</b>				
<b>(1) 学習環境</b>				
①普通教室 採光	・全室東向き ・東側校庭に面し、窓側の採光は十分に取れる	○	・全室東向き ・東側道路に面し、窓側の採光は十分に取れる	○
②児童の校内動線	・地下1階（体育館）～5階の配置となるため、児童の上下の動線が長くなる ・L字型の校舎配置であるが、児童の使用するワークルーム等は、中杉通り側に集約しているため、同フロアでの移動距離は短い	○	・1階（体育館）～4階の配置となるため、児童の上下の動線は短くなる（現在とほぼ同様） ・2～3階は、中央に体育館・ホール上部があるため、口の字の教室配置となるが、3階部分に廊下を設置するなど一定の対応が可能	○
③施設の相互利用	・学校と区民施設は別フロアとなっており、エレベータでの移動による相互利用となる	○	・低層かつ1フロアの面積が広く確保できるため、相互利用しやすい配置が可能である	◎
<b>(2) 校庭環境</b>				
①校庭の広さ・形状	・既存校庭×1.2倍 ・100mトラック ・細長い形状で不正形である	○	・既存校庭×1.5倍 ・110mトラック ・縦横比のバランスが良く正形である	◎
②校庭の日照	・自施設の影響で、午後から日影部分が大きくなる	△	・終日、日照が確保できる	◎
③校庭の上部	・開放（既存校庭と同様）	◎	・防球ネット、天井ネット（10～15m）で対応	○
④児童の活動の見守り	・教員による見守り+職員室北側1階から見渡せる	○	・教員による見守り+カメラとモニターによる安全管理	○
⑤校庭への荷物等の搬出入	・1階レベルなので荷物等の搬出入が容易	◎	・大型エレベータで屋上校庭への搬出入が可能	○
<b>(3) プール</b>	・北側2階部分に設置 ・自施設の日影は、プール期間中ほとんど影響はない	○	・北側2階部分に設置 ・自施設の日影は、プール期間中ほとんど影響はない ・9月上旬は10時頃まで1/3が日影となる	○
<b>2 区民施設</b>				
<b>(1) イベントスペース・カフェ</b>	・中杉通り側の間口に1/3程度面する	○	・中杉通り側に面する間口が長い	◎
<b>(2) ホール</b>	・8階フロア ・機材等の搬出入、利用者の移動距離が長くなる	△	・1階フロア ・機材等の搬出入、利用者の移動距離が短い	◎
<b>3 周辺環境への影響</b>				
<b>(1) 日影の影響</b>	・周辺への影響を与える範囲が広い	△	・既存の校舎とほぼ同様の影響範囲に留まる	○
<b>(2) 砂埃</b>	・校庭の砂埃による影響は少ない	○	・校庭の舗装材、表面処理等の対応により、影響は少ない	○
<b>4 防災</b>				
<b>(1) 児童の安全確保</b>				
①児童の点呼、確認等	・校庭（1階）に参集し、点呼により児童の存在を確認（現状と同様） ・建物の安全が確認されたら、建物内に児童を誘導する	◎	・近隣の空地へ参集し、点呼により児童の存在を確認 ・建物の安全が確認されたら、建物内に児童を誘導する	○
②大規模火災時	・広域避難場所（和田堀公園など）へ避難	—	・広域避難場所（和田堀公園など）へ避難	—
<b>(2) 震災救援所機能</b>				
①避難者の滞留スペース	・避難誘導する建物の安全確認まで、校庭で待機できる	◎	・避難誘導する建物の安全確認まで、協定等により、避難者が近隣の空地で待機するなどにより対応可能	○
②避難所運営	・避難者及び災害時要配慮者に対し、施設全体を活用し対応	○	・避難者及び災害時要配慮者に対し、施設全体を活用し対応	○